

鏡石町公私連携幼保連携型 認定こども園整備計画

令和7年（2025年）10月

鏡 石 町

鏡石町教育委員会

目 次

1	背 景	1
2	他計画との関係	1
3	現状と課題	1
(1)	就学前児童の状況	1
(2)	町内幼児教育・保育施設入所児童数の状況	2
(3)	町内保育施設の入所状況	3
(4)	町内施設の保育メニューの実施状況	4
4	鏡石保育所の現状	4
(1)	入所児数の状況	4
(2)	鏡石保育所の保護者の意向	4
(3)	鏡石保育所の施設の状況	5
5	現在の鏡石保育所の運営団体：鏡石町社会福祉協議会について	6
(1)	社会福祉協議会の現状	6
(2)	これまでの段階的な鏡石保育所運営移行の経過	6
6	町立鏡石幼稚園の状況	7
(1)	入園児数の状況	7
(2)	入園児が減少している要因	7
(3)	鏡石幼稚園の幼児教育の現状	7
(4)	鏡石幼稚園保護者の意向	8
(5)	鏡石幼稚園の施設の状況	8
7	鏡石保育所と鏡石幼稚園の再編と認定こども園への移行	9
8	認定こども園整備・運営の基本方針	10
(1)	運営移行時の基本的な考え	10
(2)	認定こども園の運営主体	10
(3)	運営主体への各種補助金	10
(4)	利用定員	10
(5)	管理・運営の協定の締結	10
9	整備予定地について	11
10	今後のスケジュール	12
11	計画の推進について	13

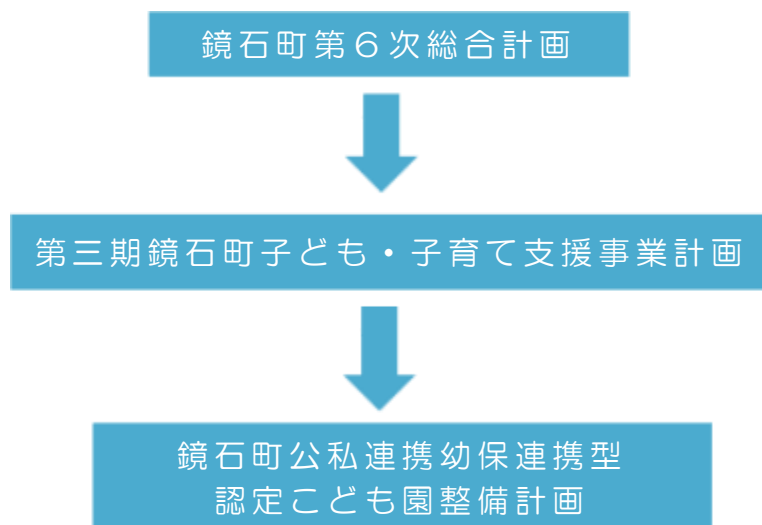
1. 背景

急速な少子化の進行や核家族化は、地域における人間関係の希薄化につながり、家庭や地域での子育て力が低下し、将来的に社会経済への深刻な影響を与えるものとして懸念されています。

また、核家族化の進行や女性の社会進出、就労形態の多様化などにより、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しており、地域における教育・保育のニーズが増大するとともに多様化しています。

2. 他計画との関係

本計画の策定にあたっては、本町の最上位計画である「鏡石町第6次総合計画」をはじめ、子ども・子育て分野の上位計画にあたる「鏡石町第三期子ども・子育て支援事業計画」との整合性を図ります。本計画の推進施策の中で、子育てと仕事の両立ができる支援体制づくりを推進するとしています。保育施設の機能強化として、多様な保育サービスの提供を図るため、保育利用率の増加が予想される中で、地域での役割の重要性を認識し、入園希望者の動向を見据えながら、認定こども園の整備や幼保施設の役割として、必要な施設・事業を検討するとしています。



3. 現状と課題

(1) 就学前児童数の状況

本町の子ども人口の推計について、0～5歳では、2029（令和11）年には527人と推計され、2024（令和6）年の570人から43人（7.5%）の減少が予測されています。

6～11歳では、2029（令和11）年には648人と推計され、2024（令和6）年の708人から60人（8.5%）の減少が予測されています。

今後も引き続き、全国的な少子化に伴い、本町の子ども人口については減少していくと予測されます。

■子ども人口の推移と推計

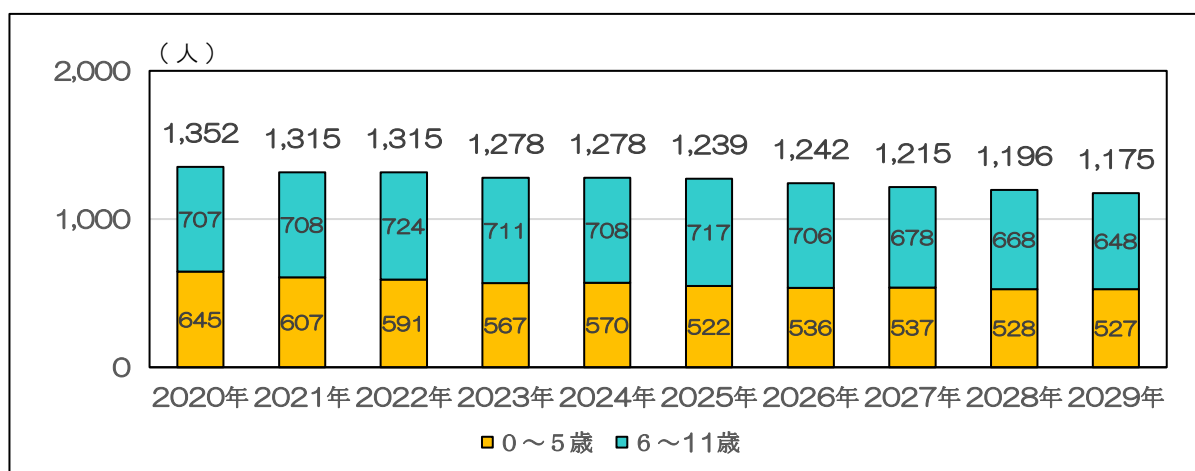
単位：人

	実績値						推定値			
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
0～11歳	1,352	1,315	1,315	1,278	1,278	1,239	1,242	1,215	1,196	1,175
0歳	94	69	83	73	82	68	77	75	75	75
1歳	105	98	75	88	84	88	85	83	83	82
2歳	113	109	98	80	94	84	93	88	87	85
3歳	105	112	110	100	86	91	90	95	90	90
4歳	104	109	113	115	104	86	99	93	98	94
5歳	124	110	112	111	120	105	92	103	95	101
0～5歳	645	607	591	567	570	522	536	537	528	527
6歳	127	125	114	115	113	118	109	93	104	97
7歳	107	128	126	114	118	113	123	111	94	106
8歳	118	108	130	129	115	118	116	126	112	96
9歳	127	119	107	128	127	114	118	115	125	111
10歳	101	127	119	106	128	129	113	119	114	124
11歳	127	101	128	119	107	125	127	114	119	114
6～11歳	707	708	724	711	708	717	706	678	668	648

資料：2020年～2025年は、住民基本台帳（各年3月31日）

2026年～2029年は、実績値を基にしたセンサス変化率法による推計（各年3月31日）

■子ども人口の推計



(2) 町内幼児教育・保育施設入所児童数の状況

町内の保育所・幼稚園・認定こども園への入所児童数は、全国的な少子化に伴い子どもの数が減少しているため、全体では減少傾向にあります。

幼保施設の入所状況については、私立保育施設の認定こども園の整備に伴い、認定こども園への入所を選択する傾向にあります。

なお、鏡石幼稚園への入園児童数については、施設の老朽化及び私立保育施設の認定こども園の整備に伴い年々減少しており、運営について非常に厳しい状況にあります。

【町内の保育所・幼稚園・認定こども園の入所児童の推移（※町内在住者のみ）】

年度	施設名	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
令和4年度	鏡石幼稚園	90	—	—	—	12	19	19	50
	認定こども園ぶどうの木	145	7	22	24	24	29	31	137
	認定こども園こどもの杜 岡ノ内幼稚園	180	—	—	—	47	40	36	123
	岡ノ内保育園	72	5	19	30	0	0	0	54
	鏡石保育所	110	7	15	18	23	21	22	106
	計	592	19	56	72	106	109	108	470
令和5年度	鏡石幼稚園	90	—	—	—	9	13	19	41
	認定こども園ぶどうの木	145	2	23	25	28	26	29	133
	認定こども園こどもの杜 岡ノ内幼稚園	180	—	—	—	43	48	40	131
	岡ノ内保育園	72	3	27	23	0	0	0	53
	鏡石保育所	110	6	12	16	17	24	20	95
	計	597	11	62	64	97	111	108	453
令和6年度	鏡石幼稚園	90	—	—	—	5	10	13	28
	認定こども園ぶどうの木	145	9	17	27	26	29	30	138
	認定こども園こどもの杜 岡ノ内幼稚園	180	—	—	—	35	44	48	127
	岡ノ内保育園	72	3	21	30	0	0	0	54
	鏡石保育所	110	4	18	14	18	17	25	96
	計	597	16	56	71	84	100	116	443
令和7年度	鏡石幼稚園	90	—	—	—	1	7	11	19
	認定こども園ぶどうの木	145	6	26	19	28	25	30	134
	認定こども園こどもの杜 岡ノ内幼稚園	180	—	—	2	43	37	44	126
	岡ノ内保育園	69	5	20	22	0	0	0	47
	鏡石保育所	110	3	13	21	16	18	17	88
	計	594	14	59	64	88	87	102	414

※資料：町子ども・子育て支援事業計画

※入所者数：各年度4月1日現在

（３）町内保育施設の入所状況（※鏡石幼稚園 P7 説明）

町内の認可保育施設は、鏡石保育所（社会福祉法人 鏡石町社会福祉協議会）、認定こども園 ぶどうの木（学校法人 栄光学園）、認定こども園こどもの杜 岡ノ内幼稚園（学校法人 鏡石学園）、岡ノ内保育園（学校法人 鏡石学園）の計４施設で、入所者数は 395 人（定員 504 人）です。（令和7年4月1日現在）

利用定員の内訳は、鏡石保育所の 110 人（2号・3号認定※）、認定

こども園ぶどうの木が 145 人（1 号・2 号・3 号認定）、認定こども園こどもの杜 岡ノ内幼稚園が 180 人（1 号・2 号認定）、岡ノ内保育園が 69 人（2 号・3 号認定）です。なお、私立の認定こども園の整備により、例年 4 月 1 日現在の待機児童は発生しておりません。

乳児保育（0 歳児）は 3 施設で実施しています。乳児保育のニーズは年々高まっていますが、それに伴い、保育士の数や施設の環境整備など配置に関する問題が発生しています。

（解説）子ども・子育て支援法に基づく認定区分のこと。

1 号認定…教育標準時間認定子ども	3 歳～5 歳
2 号認定…保育認定子ども	3 歳～5 歳
3 号認定…保育認定子ども	0 歳～2 歳

（4）町内施設の保育メニューの実施状況

○延長保育について

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ・鏡石幼稚園 | 13 時 30 分～19 時 00 分まで |
| ・鏡石保育所 | 18 時 30 分～19 時 00 分まで |
| ・岡ノ内保育園 | 18 時 15 分～18 時 45 分まで |
| ・認定こども園ぶどうの木 | 18 時 15 分～18 時 45 分まで |
| ・認定こども園こどもの杜 岡ノ内幼稚園 | 18 時 25 分～18 時 55 分まで |

○一時預かりについて

- ・認定こども園ぶどうの木
- ・認定こども園こどもの杜 岡ノ内幼稚園

○病児保育（体調不良児型）

- ・認定こども園ぶどうの木

4. 鏡石保育所の現状

（1）入所児数の状況

鏡石保育所の現在の定員は 110 名となっており、令和 7 年度の入所児童数は 89 名となっています。令和 4 年度には、106 名の入所児童がおり、3 年間で約 10%減少しています。

（2）鏡石保育所の保護者の意向

保護者の声を聴くため鏡石保育所の保護者へのアンケートを実施した結果、次のような意見がありました。

- ◆幼稚園が持っている教育面のニーズもあり認定こども園にしてほしい

- ◆0歳児の受け入れを増やしてほしい
- ◆適正な規模で施設の・設備・駐車場の改善をしてほしい
- ◆送迎の際、保育所までの道路が複雑で危ないので別な場所がよい

このように保護者としては、保育機能と幼稚園機能が連携した施設として「幼保連携型認定こども園」を望む声があります。

また、交通の安全性や園庭を含めた施設全体の環境改善も必要と感じている声もありました。

（３）鏡石保育所の施設の状況

鏡石保育所は、平成6年4月に現在の場所（鏡石町本町地内）に移転・開所しました。すでに、平成6年の建築から30年が経過し、平成23年の東日本大震災及び、令和3年・4年の福島県沖地震により震災による建物の被害及び、老朽化が進んでおり、施設の大規模改修・建て替え・移転・統廃合等について検討する時期にあります。

【鏡石保育所の位置図】



【鏡石保育所の外観】



【鏡石保育所の施設概況】

所在地	鏡石町本町４３番地６			
不動産の 状況	土地	宅地４，３００㎡		
	建物	８８４．６２㎡ (構造：木造平屋建)	建築 年月	平成６年３月
	建物	乳児室 ２０．２４㎡ 給食室 １２．８９㎡ (構造：木造平屋建)	建築 年月	平成１２年３月

５．現在の鏡石保育所の運営団体：鏡石町社会福祉協議会について

(１)社会福祉協議会の現状

保育所の運営団体である「社会福祉法人 鏡石町社会福祉協議会」は、地域福祉の推進を図り、営利を目的としない極めて公共性の高い団体です。

鏡石町社会福祉協議会は、昭和３１年の設立以降、地域福祉の推進を図るために、幅広く福祉サービスを提供しながら地域住民の生活を支えてきました。

町では、社会福祉協議会を支援するために、財政面での補助や事務局への職員派遣等を実施しており、密接な連携のもと地域福祉の向上を図っています。また、平成２７年度からは、職員相互の人事交流を開始し、町と社会福祉協議会相互のさらなる充実強化を図っています。

平成２９年４月には、鏡石町と鏡石町社会福祉協議会にて公私連携型

保育所管理運営協定を締結し、平成30年4月には協定に基づき、公私連携型保育所として鏡石町社会福祉協議会が運営を開始しています。

令和5年4月には、鏡石町から鏡石町社会福祉協議会へ建物・備品（鏡石保育所）の無償譲渡が行われ、現在に至ります。

(2)これまでの段階的な鏡石保育所運営移行の経過

保育所の設置・運営形態には、地方自治体が設置運営する「公設公営」方式、地方自治体が施設を整備して民間に運営を委ねる「公設民営（業務委託）」方式、そして、民間が設置運営する「民設民営（公私連携型）」方式、の3つの方式があります。

これまで社会福祉協議会による鏡石保育所の運営移行にあたっては、保護者の不安を解消し、安心してお子さんを預けることができるようにすることが何よりも大切ですので、次のように2段階に分けて進めていきました。

【第1段階：「公設民営（業務委託）」方式（平成29年度）】

町が引き続き鏡石保育所の設置主体として責任を持ちながら、社会福祉協議会に保育所の管理運営を公私連携型保育所として、運営に携わります。

【第2段階：「民設民営（公私連携型）」方式に移行（平成30年度～）】

社会福祉協議会による保育所の管理運営が一定期間経過し、安定的・継続的に充実した保育が行われていることを確認した後に、社会福祉協議会が保育所の設置主体として、その民間の特色を生かしながら、自主的・主体的に管理運営を行い、引き続き町も様々な面で支援します。

6. 町立鏡石幼稚園の状況

(1)入園児数の状況

鏡石幼稚園の現在の定員は90名ですが、令和7年度の入園児童数は大幅に減少し、19名となっています。令和元年度には、74名の入園児童がおり、6年間で約74%減少しています。

なお、令和7年度には新規の入園申込み児童が4名（3歳児が1名、4歳児が2名、5歳児が1名）で継続希望園児含めると合計19名です。3歳児から入園を希望する幼児は減少傾向にあり、今後も入園の希望については減少していくことが予想されます。

また、幼稚園退園後に午後6時30分までの預かり保育を実施していますが、令和7年度は預かり保育の希望者は3人となっています。

【鏡石幼稚園の入園状況（令和7年4月1日現在）】

（単位：人）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
利用定員	—	—	—	20	35	35	90
入園児童数	—	—	—	1	7	11	19
預かり希望				0	0	3	3

【利用定員】90名 【入園児童】19名（定員に対する入園率：21％）

【職員配置】園長1名、副園長1名、教諭3名、講師1名、支援員1名、用務員1名、合計8名

（2）入園児が減少している要因

園児数が減少している要因としては、全国的にも少子化が進行する中、鏡石町の出生数も年間約80人で推移しているため、入園児が減少傾向にあります。

また、減少要因の大きな理由として、次のようなことが考えられます。

- ① 令和元年から開始した幼児・教育無償化（3歳児～5歳児）以降、公立と私立との間で利用料の差がなくなり、保護者の選択肢が増えたこと。
- ② 女性の社会進出により共働き世帯の増加や核家族化が進行し、0歳児～2歳児から預けたい家庭が増え、3歳児以降も同一の施設に継続して入園（所）を希望していること。

（3）鏡石幼稚園の幼児教育の現状

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期ですが、園児数が少ないため年齢に応じた集団生活を行うことによって学ぶべき生活習慣や学習意欲の基礎の好奇心・探究心を養うことが難しい状況となっています。

また、集団で行うお遊戯会や運動会などの行事も園児数が少ないことから限られてしまい、実施できないような行事も今後は多くなってくると予想されます。このような状況から、今後の幼児教育の場としての在り方を検討しなければなりません。

（4）鏡石幼稚園保護者の意向

入園児が減少していることから、保護者の声を聴くため鏡石幼稚園の保護者へのアンケートを実施した結果、次のような意見がありました。

- ◆少子化という課題に向きあうと、休園・廃園はやむを得ない
- ◆園児数が減少している状況で教育活動に必要なクラスの人数や集団規模を見直すことが必要
- ◆障害児保育や病児保育を実施してほしい
- ◆子育て関連施設、保育施設の充実などを重視してほしい
- ◆鏡石保育所と統合した「認定こども園」を検討してほしい
- ◆認定こども園として整備した場合は、鏡石幼稚園の良い部分を引継ぎ

残してほしい

◆園児数が減少していることから保育所と幼稚園が連携した施設として統合することもある必要

◆鏡石幼稚園を継続してほしい

このように保護者としては、鏡石幼稚園の継続を望む声もありますが、保育所と幼稚園が連携した施設として「幼保連携型認定こども園」を望む声も多くあります。

また、配慮を必要とする園児が増加していることもあり、障害児保育の希望や体調に不安（かぜや発熱など）のある子どもを一時的に預かる病児保育を希望する声もありました。

（５）鏡石幼稚園の施設の状況

鏡石幼稚園は、昭和４７年４月に小学校旧校舎に開園し、昭和６２年２月に現在の鏡石町中町地内の新園舎に移転、平成２０年には預かり保育室が増築され、現在に至ります。

すでに、昭和６２年の建築から３７年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、町全体の子どもの数及び、保育・教育のニーズ、施設の耐用年数等の状況を勘案しながら、老朽化している施設の大規模改修・建て替え・統廃合等を検討する時期にあります。

【鏡石幼稚園の位置図】



【鏡石幼稚園の外観】



【鏡石幼稚園の施設概況】

所在地	鏡石町中町 2 7 1 番地 1			
不動産の 状況	土地	宅地 3, 6 6 4 m ²		
	建物	園舎 5 1 4. 0 0 m ²	建築年月	昭和 6 2 年 2 月
	建物	預かり保育室（増築） 9 7. 0 0 m ²	建築年月	平成 2 0 年 2 月

7. 鏡石保育所と鏡石幼稚園の再編と認定こども園への移行

前述のように少子化に伴い、将来、町内の幼保施設での受け入れ児童数も減少することが見込まれることや現在の教育と保育両方のニーズにこたえていく必要性があります。さらには、鏡石保育所と鏡石幼稚園の施設の安全性・耐久性を勘案し、子育て支援及び幼児教育の充実を図りながら、柔軟に児童の受け入れができるよう両施設を再編する必要があります。

そのため、「公私連携幼保連携型認定こども園」として施設の建て替え・移転等を行うことで喫緊の課題である少子化や子育て支援施設の老朽化などの課題解決になるよう計画します。その過程においては、保護者からの要望などを受け止め、運営できるよう適宜協議を重ねながら進めていきます。

8. 認定こども園整備・運営の基本方針

(1) 運営移行時の基本的な考え

幼児教育・保育方針の変更や保育士の大幅な入れ替わり等で、保護者や子ども達が不安を感じることがないように、従来の鏡石保育所・鏡石幼稚園での教育・保育方針を基本的に維持しながら移行していきます。

(2) 認定こども園の運営主体

鏡石幼稚園と鏡石保育所を再編した認定こども園へ移行するにあたり、運営主体としては、現在、公私連携型保育所として鏡石保育所を運営している社会福祉協議会が運営主体として整備することで保育教諭の確保と施設運営や施設整備にかかる各種補助金があるなど、メリットが多いため望ましいと考えます。

なお、町が主体となり新築や増改築などを実施した場合や施設運営を行った場合は、国・県の補助金はなく、現在、町職員を事務職と保育現場へ派遣しているなどを考慮すると、密接な連携を図れることから、町民の意見や町の「第三期子ども子育て支援事業計画」の内容を反映した公私連携幼保連携型認定こども園としての運営が期待できます。

(3) 運営主体への各種補助金

社会福祉法人等の民間事業者が新築や増改築、更に運営主体となった場合の補助金については、次のとおりです。

① 新築や増改築（国費：就学前教育・保育施設整備交付金）

国1/2	町1/4	事業主1/4
------	------	--------

② 運営費（国費・県費：施設型給付費）

国1/2	県1/4	町1/4
------	------	------

このように、国、県からの補助金があることから、施設の整備や維持に加え、安定的な運営が見込まれます。

(4) 利用定員

町内の人口動態については、緩やかな減少傾向で推移する見込みですが、保育施設の実利用者は増加傾向にあります。

そのため、第3期子ども・子育て支援事業計画にもあるとおり、町の課題である年度途中の待機児童を発生させないように町内の民間施設の受入れ状況等を踏まえて利用定員を見極める必要があります。0～2歳児を増員し、3～5歳児は、鏡石保育所と鏡石幼稚園の現在の受け入れ児童数に合わせ、保育認定を51名、教育認定を9名として利用定員を年齢区分別に次のとおりに設定します。

(単位：人)

区分	区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
鏡石保育所	保育認定	6	12	18	24	25	25	110
鏡石幼稚園	教育認定	—	—	—	20	35	35	90
新認定こども園	保育認定	12	15	18	17	17	17	105
	教育認定	—	—	—	3	3	3	

(5)管理・運営の協定の締結

鏡石保育所・鏡石幼稚園で実施する教育・保育サービスの内容、管理経費、個人情報保護、三者協議会の開催、円滑な引き継ぎ等に関する事項など、これまで培われてきた幼児教育・保育内容を継承して管理・運営していくために必要な事項について、町と社会福祉協議会との間で協定を締結します。

9. 整備予定地について

令和6年12月に実施しました鏡石幼稚園・鏡石保育所の保護者に対する「公私連携型鏡石保育所の認定こども園化に関するアンケート」の結果により、認定こども園の設置場所については「現在と同じ場所がよい」や「鏡石駅の東側地区（健康福祉センター付近）」の意見が多く寄せられたことから、次のとおり考察しました。

○「現在の鏡石保育所敷地」の場合の考察

当該場所については、都市計画法に定める市街化調整区域のため、敷地面積及び建築面積の制限があり、面積の拡大が法令により厳しく制限されています。

旧国道から鏡石保育所までの接続道路についても、袋路地状道路であるため児童の送迎時には混雑し、災害発生時には支障をきたしており、来園者の駐車場についても十分に確保できていない状況にあります。

また、保育所を運営しながら同一敷地内で行う必要があるため、仮園舎等を建築して施設の運営と建築工事を並行して行うため、仮園舎設置の費用等も発生し、費用・スペース等の面で課題があり非常に困難です。

○「鏡石駅の東側地区（健康福祉センター付近）」に建築した場合の考察

候補地としては、健康福祉センター（ほがらかん）付近の老人福祉センター跡地や公民館グラウンドの用地があります。十分な敷地・建築面積が確保でき、市街化区域のため多くの制限を受けずに設計・施工を行うことができます。

また、当該敷地はいずれも、現在の鏡石保育所と同規模の敷地面積で

あり、都市計画道路（計画幅員１２～２０ｍ）にも接しているため、児童の送迎時や災害発生時にも安全性が確保できます。ただし、公民館グラウンドは、矢吹原土地改良区のパイプラインが地中を横断しているため建物位置に制限がかかることや土地が低く造成が必要になるなどの課題あります。一方、老人福祉センター跡地は、そのパイプラインが敷地西側の境界線上に敷設されていることから、建物位置の制限は最小限であり、出入り口も都市計画道路に隣接するように整備することができます。また、イベント時は、近接する健康福祉センターの駐車場を利用することができます。

以上のことから、認定こども園の整備予定地については、現在の場所での建替えの面積制限、建築費用、駐車場の確保、道路条件等を踏まえると、鏡石駅の東側地区（鏡石町旭町地内）の老人福祉センター跡地を整備候補地として選定します。

また、確保できる用地面積の点においても、保護者のアンケートなど多くの要望があった「取り入れてほしい事業」として、一時保育・延長保育・障がい児保育・児童発達支援サービス・病児保育・乳幼児通園支援（こども誰でも通園制度）・放課後児童クラブなど、多種多様な教育・保育サービスのニーズに柔軟に対応するための機能の整備についても検討することができます。

【整備予定地の位置図】



【整備予定地の概要】

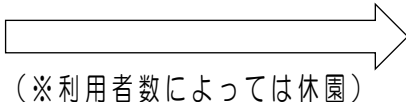
項 目	内 容
住 所	鏡石町老人福祉センター跡地 鏡石町旭町161番地 (鏡石町駅東土地区画整理事業地内11街区1画地)
敷地面積	従前地面積 6,746.67 m ² 仮換地面積 4,693 m ² (小数点以下切捨) (参考: 既存保育所敷地 4,300 m ²)
用途区分	市街化区域
用途地域	第一種中高層住居専用地域
建ぺい率	60%
容 積 率	200%
防火・準防火地域	指定なし(建築基準法第22条区域)

10. 今後のスケジュール

公私連携型鏡石保育所の公私連携幼保連携型認定こども園整備については、認定こども園として運営することで幼保の連携を図り、柔軟に児童の受け入れを行い、保育・教育を一体的に実施できるよう、令和10年度の開園を目指して、関係機関と連携して認定こども園の整備を進めます。

また、鏡石幼稚園については、鏡石保育所の公私連携幼保連携型認定こども園整備により、幼児教育部門について受け入れが開始され次第、その機能を民間施設に移行した上で、廃園とします。

なお、鏡石保育所及び、鏡石幼稚園を利用する保護者・町民等に対しては、順次説明や広報による周知を行っていきます。

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度 以 降
鏡石保育所の 公私連携幼保 連携型認定こ ども園整備	○ 町・社協 にて協議	○ 基本設計	○ 実施設計 建築工事	○ 建築工事	○ 開 園
鏡石幼稚園の 廃園	○ 新規・継続 受付	 (※利用者数によっては休園)			○ 廃 園

※ 1 公私連携幼保連携型認定こども園：幼稚園と保育所両方の機能を備えた施設
保育所型：現在の鏡石保育所の保育部門の施設

1 1. 計画の推進について

計画の推進については、保護者の理解を得ながら、社会福祉協議会を事業主体に関係機関・団体と密接に連携し、適宜協議を重ねながらスムーズな運営移行となるように努めます。

なお、本計画の進捗状況を確認し、必要に応じて見直しを行います。

関係機関との協議・視察研修の経過記録

時 期	内 容
令和5年10月	・ 幼保施設事務打ち合わせ（1回目）
令和6年 2月	・ 鏡石幼稚園の現状及び今後の方針（2回目）
令和6年 5月	・ 幼保施設事務打ち合わせ（3回目、4回目） ・ 福島県子育て支援課と交付金事務打ち合わせ（1回目）
令和6年 6月	・ 福島県子育て支援課と交付金事務打ち合わせ（2回目）
令和6年 7月	・ 鏡石幼稚園保護者アンケート
令和6年10月	・ 社会福祉協議会と幼保施設の協議
令和6年11月	・ 幼保施設事務打ち合わせ（5回目） ・ 鏡石保育所保護者アンケート調査 ・ 福島県子育て支援課と交付金事務打ち合わせ（3回目）
令和6年12月	・ 福島県子育て支援課と交付金事務打ち合わせ（4回目） ・ 町長・副町長・福祉こども課・教育課 整備計画協議（1回目） ・ 幼保施設事務打ち合わせ（6回目）
令和7年 1月	・ 就学前教育・保育施設整備交付金の協議に係る自治体向け説明会 ・ 町長・副町長・福祉こども課・教育課 整備計画協議（2回目）
令和7年 2月	・ 町長・副町長・福祉こども課・教育課 整備計画協議（3回目） ・ 事例視察研修（認定こども園まゆみ（二本松市）、認定こども園 たまかわクックの森（玉川村）、わかばこども園（須賀川市））
令和7年 5月	・ 町長・副町長・福祉こども課・教育課 整備計画協議（4回目） ・ 5月定例全員協議会にて整備計画の概要説明 ・ 町社会福祉協議会から要望書提出
令和7年 6月	・ 都市建設課、福祉こども課事務打ち合わせ ・ 上下水道課、都市建設課、福祉こども課事務打ち合わせ ・ 町長・副町長・福祉こども課・教育課 整備計画協議（5回目）
令和7年 7月	・ 社会福祉協議会、福祉こども課事務合わせ ・ 教育課・福祉こども課整備計画打ち合わせ
令和7年 8月	・ 町長・副町長・教育長・福祉こども課・教育課 整備計画協議（6回目）
令和7年 9月	・ 幼保施設事務打ち合わせ（7回目） ・ 町長・副町長・教育長・企画財政課・福祉こども課・教育課 整備 計画協議（7回目） ・ 事例視察研修（認定こども園まゆみ（二本松市）、認定こども園 わかばこども園（須賀川市））（2回目）
令和7年10月	・ 教育課・福祉こども課・鏡石保育所・鏡石幼稚園・社会福祉協議会・ 放課後児童クラブ整備計画打ち合わせ

鏡石保育所（公私連携型）の認定こども園化に関するアンケート結果（抜粋）

1 アンケートの概要

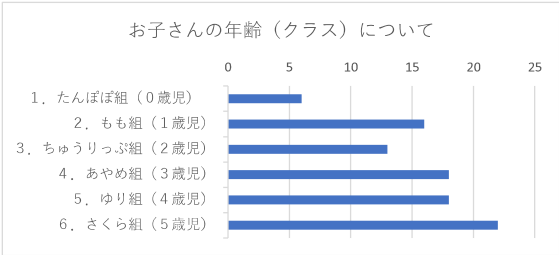
- ・対象者 鏡石保育所に在籍する子どもの保護者
- ・対象者数 80名
- ・期 間 令和6年11月26日（火）～12月9日（月）
- ・回答者数 78名／80名
- ・回答率 97%

2 アンケート集計結果

設問1 お子さんの年齢（クラス）について

- 1. たんぽぽ組（0歳児）
- 2. もも組（1歳児）
- 3. ちゅうりっぷ組（2歳児）
- 4. あやめ組（3歳児）
- 5. ゆり組（4歳児）
- 6. さくら組（5歳児）

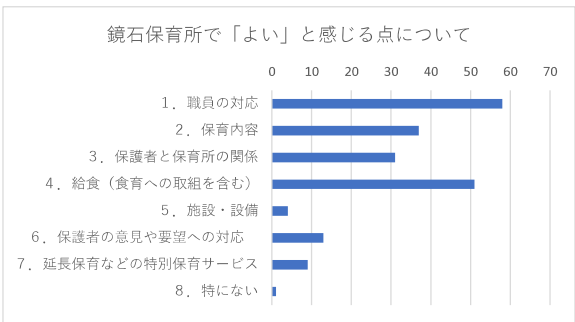
回答数
6
16
13
18
18
22



設問2 鏡石保育所で「よい」と感じる点について（3つまで）

- 1. 職員の対応
- 2. 保育内容
- 3. 保護者と保育所の関係
- 4. 給食（食育への取組を含む）
- 5. 施設・設備
- 6. 保護者の意見や要望への対応
- 7. 延長保育などの特別保育サービス
- 8. 特にない

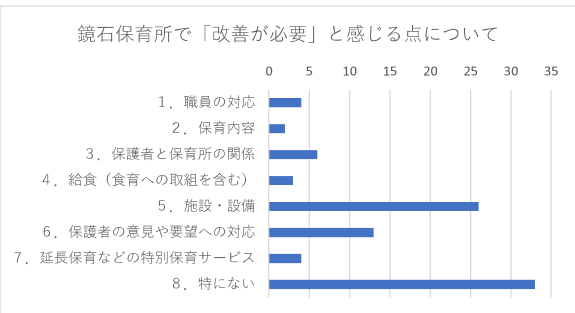
回答数
58
37
31
51
4
13
9
1



設問3 鏡石保育所で「改善が必要」と感じる点について（3つまで）

- 1. 職員の対応
- 2. 保育内容
- 3. 保護者と保育所の関係
- 4. 給食（食育への取組を含む）
- 5. 施設・設備
- 6. 保護者の意見や要望への対応
- 7. 延長保育などの特別保育サービス
- 8. 特にない

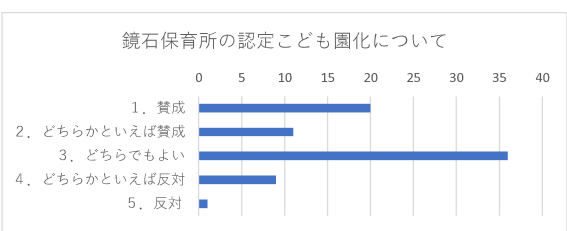
回答数
4
2
6
3
26
13
4
33



設問4 鏡石保育所の認定こども園化について

- 1. 賛成
- 2. どちらかといえば賛成
- 3. どちらでもよい
- 4. どちらかといえば反対
- 5. 反対

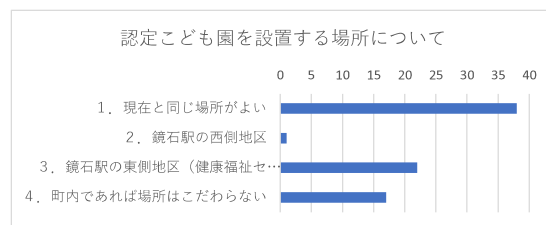
回答数
20
11
36
9
1



設問5 認定こども園を設置する場所について

1. 現在と同じ場所がよい
2. 鏡石駅の西側地区
3. 鏡石駅の東側地区（健康福祉センター付近）
4. 町内であれば場所はこだわらない

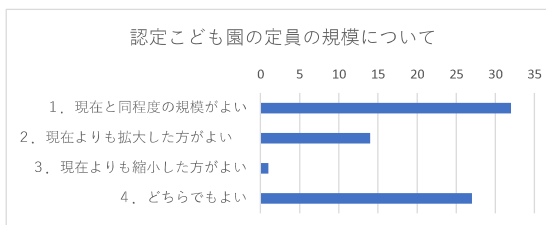
回答数
38
1
22
17



設問6 認定こども園の定員の規模について

1. 現在と同程度の規模がよい
2. 現在よりも拡大した方がよい
3. 現在よりも縮小した方がよい
4. どちらでもよい

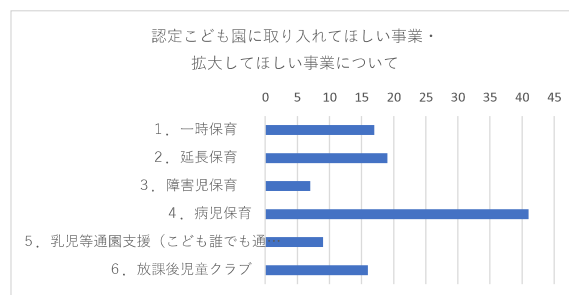
回答数
32
14
1
27



設問7 認定こども園に取り入れてほしい事業・拡大してほしい事業について

1. 一時保育
2. 延長保育
3. 障害児保育
4. 病児保育
5. 乳児等通園支援（こども誰でも通園制度）
6. 放課後児童クラブ
7. その他

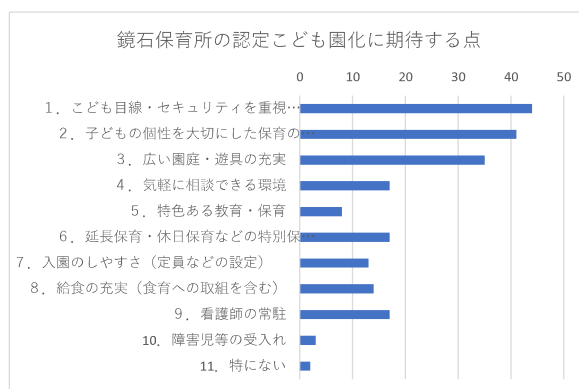
回答数
17
19
7
41
9
16



設問8 鏡石保育所の認定こども園化に期待する点（3つまで）

1. こども目線・セキュリティを重視した施設・設備
2. 子どもの個性を大切にされた保育の実施
3. 広い園庭・遊具の充実
4. 気軽に相談できる環境
5. 特色ある教育・保育
6. 延長保育・休日保育などの特別保育サービスの充実
7. 入園のしやすさ（定員などの設定）
8. 給食の充実（食育への取組を含む）
9. 看護師の常駐
10. 障害児等の受入れ
11. 特にない

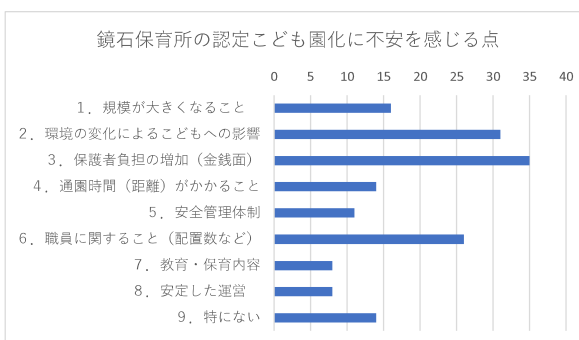
回答数
44
41
35
17
8
17
13
14
17
3
2



設問9 鏡石保育所の認定こども園化に不安を感じる点（3つまで）

1. 規模が大きくなること
2. 環境の変化によるこどもへの影響
3. 保護者負担の増加（金銭面）
4. 通園時間（距離）がかかること
5. 安全管理体制
6. 職員に関すること（配置数など）
7. 教育・保育内容
8. 安定した運営
9. 特にない

回答数
16
31
35
14
11
26
8
8
14



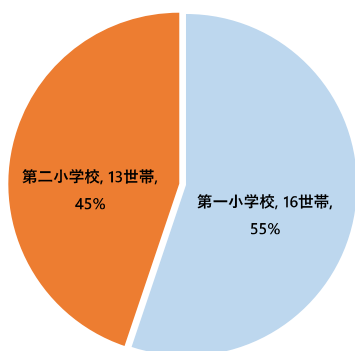
鏡石幼稚園アンケート結果（抜粋）

幼稚園保護者アンケートから

○対 象 者	鏡石幼稚園に在籍する子どもの保護者
○対象者数	29名
○期 間	令和 6 年7月中旬～8月下旬
○回答者数	29名/29名
○回 収 率	100%

1

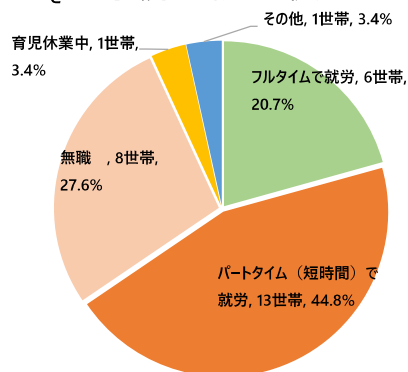
Q1.小学校区はどちらですか？



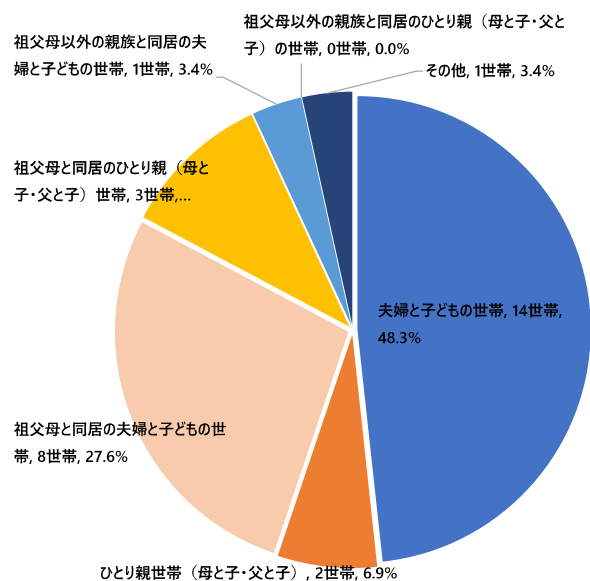
Q2.父親の就労状況



Q3.母親の就労状況

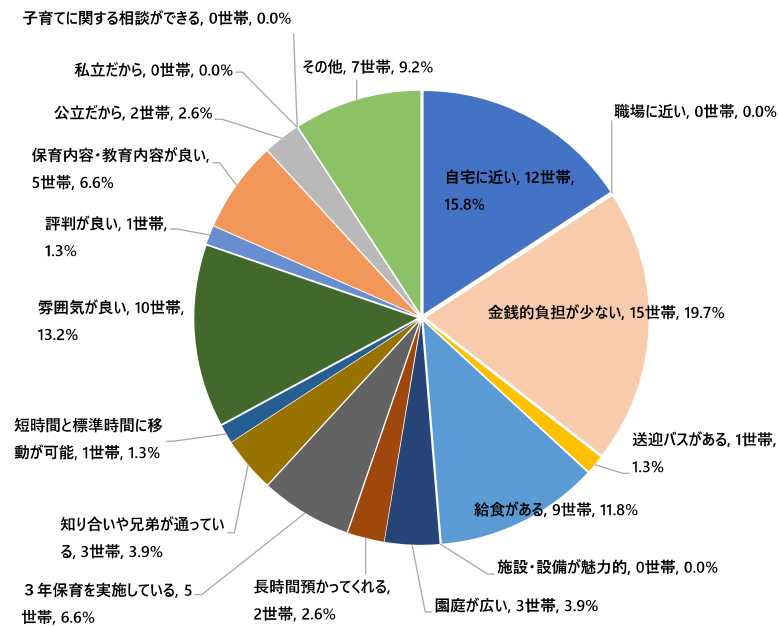


Q4.世帯の状況について



2

Q5.施設を選択する際、重視する内容



• その他の内容

○子どもが療育利用、先生を一人付けてくれるところを探していました。町内の幼稚園、保育所3か所に問い合わせ、今、通っている幼稚園だけが快く子どもを受入れてくれました。少人数ですが、子どもにはあっていて楽しんでいます。安心です。

○兄弟が通っていた。

○母が通っていた。

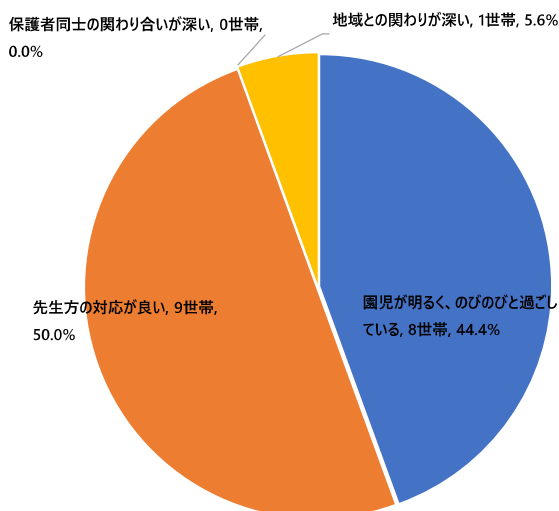
○子どもの発達が遅いので、少人数の幼稚園で先生方の目が届きやすい所をえらびました。

○三才児から入所できる。

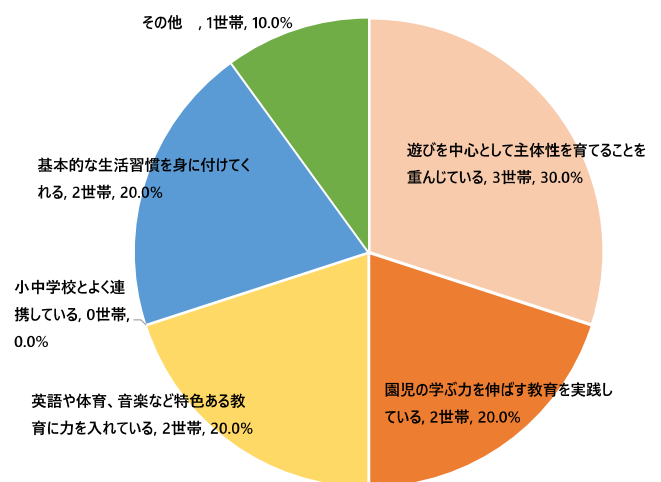
○母園であり、信頼があったため

3

Q6.雰囲気が良いと感じたのはどんなところですか

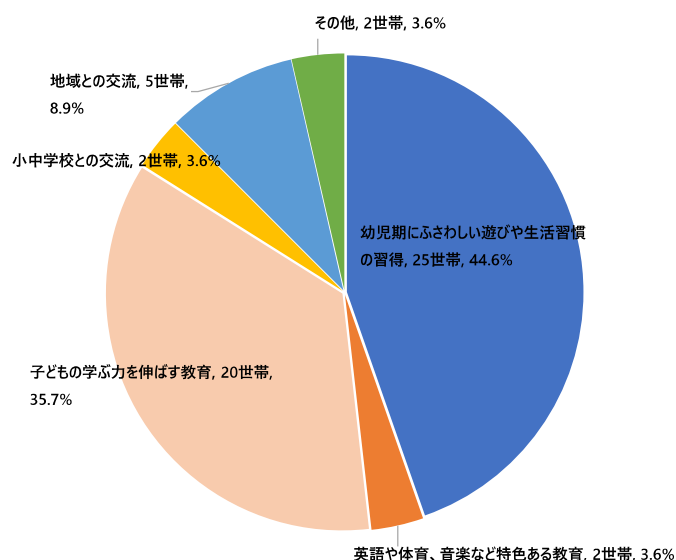


Q7.保育・教育内容が良いと感じたのはどんなところですか

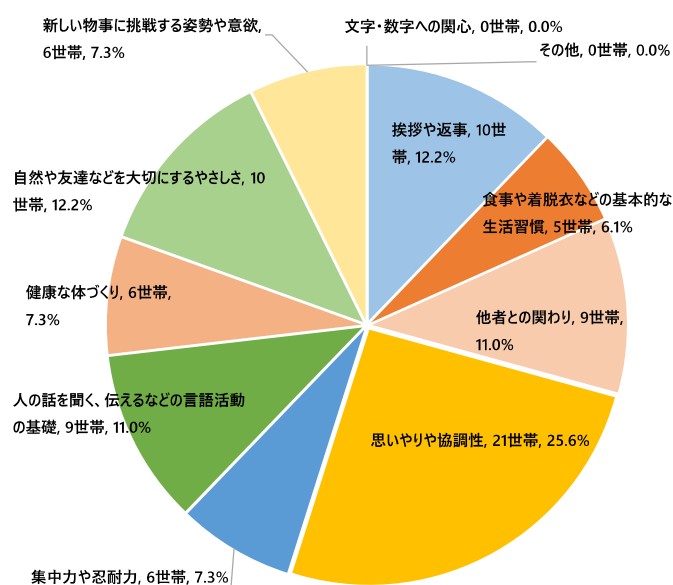


4

Q8.就園している施設での生活や教育に期待するものは何ですか

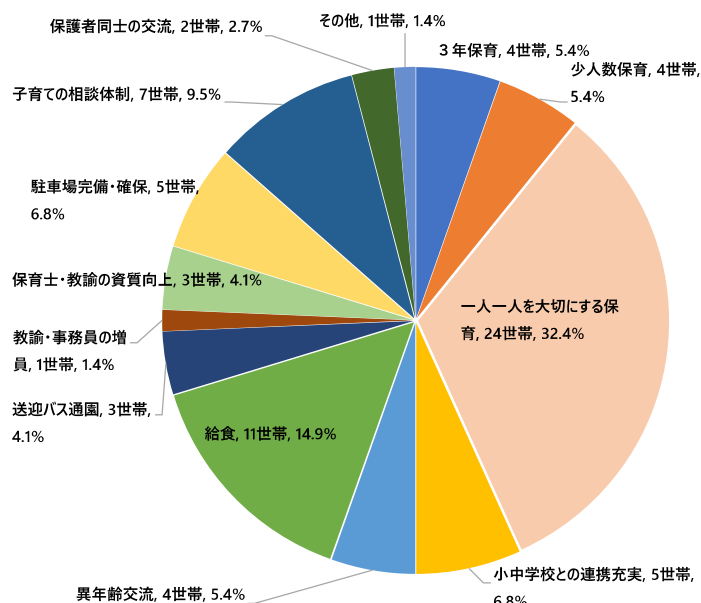


Q9.お子さんに身に付けてほしいことは何ですか

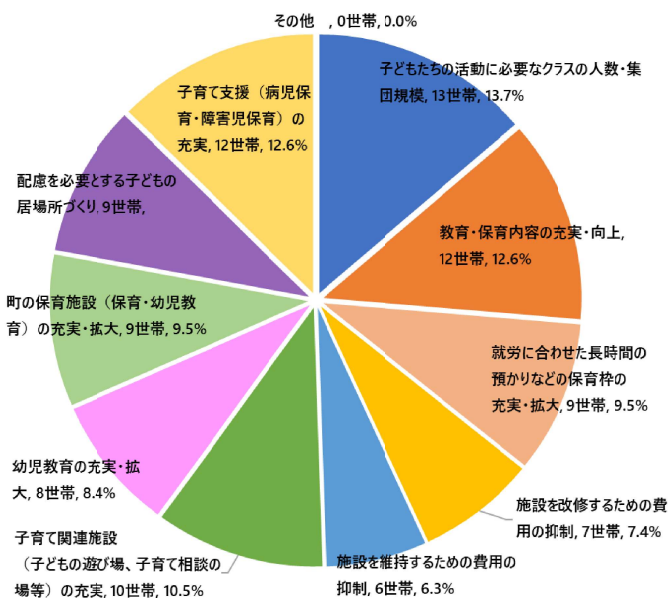


5

Q10.施設の運営・サービスにおいて要望することは何ですか？



Q11.今後の方針検討にあたり、どういった視点を重視すべきだと思いますか？



今後の鏡石幼稚園についての保護者の意見

- 少子化という課題に向き合うとなると休園・廃園もやむを得ない。
- 町の保育所と一緒にして残してほしい。
- 3歳から入れる施設がないのも困るので、鏡石保育所と統合するような形で、「鏡石こども園」になってほしい。
- 教育・保育内容は素敵だと思うので、建物を新しくして満3歳児から入所できるようにしてほしい。
- 保育所との混合もありだと思う。
- 保育所の統合等もあるのかなと思ってました。
- もし可能であれば、須賀川市のように公立認定こども園にしてくださいと一番うれしいです。
- 今の年少を見ても集団生活って言えるのかなと思うので、継続してほしいけれど難しいのかなと思います。
- 保育所と幼稚園の合併も良いが、園の良さは残してほしい。
- 年少3歳児からを幼稚園施設で継続、0～2歳児は保育施設で保育園と統合する形でも良いのではなか。
- 鏡石幼稚園の良い所を、認定こども園として保育所と合併しても残してほしい。